

■視点1-②

《中期目標》筋道を立てて考えたことや判断の根拠を過不足なく示して、説明することができる児童の育成
 〈成果指標〉豊前市標準学力調査で国語、算数ともに、全学年において基礎領域で全国平均に達する。
 平成34年度の全国調査の標準化得点【目標値 国語…98以上、算数…96以上】

《短期目標》自分の考えを理由や根拠をもとに表現することができる児童
 〈成果指標〉H32年度の全国調査の標準化得点：国語A…100、算数A…95
 (平成32年度福岡県学力調査【中1】において、県標準化得点 国語 100 算数 94 以上)

■視点5

■視点2

■視点4

【家庭・関係機関との連携】
 〈取組(指標)〉
 ① 「毎日続けよう小学生の家庭学習」の活用(毎学期、めあての振り返り、PTA総会、学級懇談会で共通理解を図る)
 ② 「親子の約束カード」の取組(学期1回)
 ③ 「自主学習ノート」の取組(質と量の充実を図る点検・称賛・手本となるノートの提示)月1回振り返り、保護者のコメント
 〈成果(指標)〉
 ◆ 質問紙調査「自分で計画を立てて学習」の結果(65%)
 ◆ 保護者アンケート「毎日、自主学習をとめている」45%以上

【授業づくり】
 [基礎・基本の確実な習得]
 〈取組(指標)〉
 ① 1単位時間で身に付ける資質・能力を明確にしなが、「めあて」と「まとめ」の整合性のある授業づくりをする。(80%)
 ② 毎時間振り返りの活動を位置付け、「何がわかったのか」「自分の考えがどのように変容したのか」等を書くことで学んだことを自覚できるようにする。
 ③ 児童が「できた」「わかった」「がんばれそう」と思う、励ましや賞賛の声かけを毎時間行う。(90%)
 〈成果(指標)〉
 ◆ 児童による授業評価「授業がわかる」「毎時間の授業で何をしたかわかる」3.5以上(4段階)
 [根拠を明確にして、解決したことや考えを表現する力の育成]
 〈取組(指標)〉
 ④ 全教科で自分の思いや考えを書く活動やペアやグループでの学び合いを効果的に位置づけ、一人ひとりが理由や根拠をもとに自分の考えを発表できるようにする。(毎時間実施)
 ⑤ 特に算数科では、考えを式や言葉、絵、図、表などで表現する活動を位置づけて、自分の考えを理由や根拠をもとに説明できるようにする。(75%)
 〈成果(指標)〉
 ◆ 児童による授業評価(「自分の考えを書いたり説明したりすることができた」3.3以上)

【教員の意識・指導力の向上】
 〈取組(指標)〉
 ① 年度当初に、標準学力調査結果をもとに実態を共通理解する。
 ② 「全国学力調査問題」を単元計画に位置づけ、授業改善を行う。思考力を問う問題を朝スキル、放課後スキルの時間に行う。(4・5年、月・水)
 ③ 主題研修や若年研修等で、授業づくりについて校内で協議・検討し、日常的に実践を積み重ねる。
 ④ 小中合同の研修会の実施(年3回) 授業研修、県学力調査の分析、学力向上プラン等
 〈成果(指標)〉
 ◆ 教員アンケート「児童は自分の考えを理由や根拠をもとに表現することができる」(3.3以上)

■視点3

【学力基盤づくり】

〈取組(指標)〉
 ① 朝スキルの時間に、基礎基本の定着に取り組む。実態に応じた内容を選定し、実施する。理解が難しい児童には複数体制で個別指導をする。
 ② 4、5年生に「活用力育成教材集」、「全国・県学力調査の過去問題」を用い、放課後スキルや家庭学習の課題として取り組ませる。必要に応じて、担任とのTTなど複数体制での指導をする。(週2回朝スキルで問題、放課後スキルで説明、練習)
 ③ 「朝読書」「ブックン、学校図書館」を活用し、読書に興味を持たせ、読書量を増やす。
 ④ 全校「月1作文」を行う。(テーマ、学年毎に書き方指導、原稿用紙1枚以内、書き方など条件を入れる。)
 〈成果(指標)〉
 ◆ 学期末に「全校漢字テスト」を行う。(全員90点合格) 実施時期の前には事前学習(宿題やミニテスト)を各学級で行い、目標点を超えるようにする。
 ◆ 4年生は、12月のチャレンジテストで県平均以上、全学年、豊前市の標準学力調査において全国平均を上回る。
 ◆ 読書記録をつける。(75%) ◆ 月1作文「条件にそって書けている」(75%)「原稿用紙に書くことは難しい否定的回答30%」
 ◆ 将来の夢や目標をもち、自分なりに努力している。「当てはまる」75%以上

■視点1-①

H30全国学力学習状況調査結果から見た課題					要因(授業づくりやその他学校の学力向上の取組)
標準化得点	国語A	国語B	算数A	算数B	・様々な文章や資料を読む機会や、自分の意見を述べたり他の人の意見を聞いたり書いたりする機会が不足。 ・式の表現と読みに係る系統的な指導が不十分。また、「筋道を立てて考えたことや判断の根拠を過不足なく示して説明する」ことに重点化した指導が不十分。 ・家庭学習の習慣化の指導不足。 ・家庭への協力要請、啓発の徹底、保護者の意識改革。
H30	106.0	104.0	103.0	105.0	
質問紙調査	・算数がすき。33.4%(全国64%) ・算数で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えている。50%(全国64.4%) ・学校の授業時間以外に読書を10分以上。50%(全国66.2%) ・家庭学習を計画を立ててしている。50%(全国67.6%) ・将来、理科や科学技術に関する職業に就きたいと思っている。6人中0人(全国26.1%)				